



民主党千葉県第10区総支部長  
衆議院議員 谷田川はじめ

# 「雄志」

## 民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

### 【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2  
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

### 【国会事務所】

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第1議員会館816号室  
TEL 03-3508-7123 FAX 03-3508-3423  
Mail: info@hajime-yatagawa.com  
HP: www.hajime-yatagawa.com

与野党一致して協力できる体制を！

「一定の目処がつけば、若い世代に責任を引き継いでいきたい」6月2日の民主党代議士会で、菅総理がこう語って以来、政治的混乱が続いてい

ます。この発言の直後に鳩山前総理が、「一定の目処とは、東日本大震災復興基本法案が成立し、二次補正予算案の編成の目処がたつことであり、菅総理は退陣を決意してくれた」と語り、さらに、「一致結束して、不信任案を否決してもらいたい」と促しました。そして、いくつかの質疑応答の後、最後に発言に立った菅総理は、何ら鳩山前総理に反論することなく、「鳩山さんと同じ思いだ」と語ったのです。

これにより、直後に開かれた衆議院本会議では、圧倒的多数で不信任案が否決されました。しかしながら、当日夜の記者会見で、菅総理が、来年1月の原発の冷温停止までの続投に意欲を示したことにより、ペテン師呼ばわりされる始末。

「菅総理は往生際が悪い」「菅総理の行動は武士道に反する」と言った支持者の皆さんからの声が私に寄せられました。私も全くその通りだと思えます。

その後、6月28日の両院議員総会で、菅総理は「一定の目処とは、①第二次補正予算案の成立、②再生可能エネルギー法案の成立、③赤字公債特例法案の成立である」と明言しました。

今日現在で、(8月2日時点)②と③の成立は予断を許しませんが、私は、一定の目処とは関係なく菅総理は退陣時期を明確にし、若い世代にバトンを引き継ぐべきだと思っています。

北朝鮮による拉致問題解決のため、超党派の議員で7月11日からワシントンを訪問しました。(詳しくは、6ページをご覧ください)米政府や議会関係者との意見交換で、「震災後どうして日本は与野党協力できないのか」と問われた時は、答えに窮しました。やはり未曾有の国難というべき時に、与野党が復興に向けて協力できる体制を早急に確立すべきです。参議院で野党が多数を握っている以上、野党に対して連立政権への参加か閣外協力を求める必要があります。

「菅さんが総理である以上、民主党と協力できない」と強硬に主張する野党に理解を求めるとは、新たな民主党代表の選出が不可欠です。

そして、新代表には、野党との連携に十分に配慮できる人物でなければならぬことは勿論です。以上のことを念頭に置き活動して参る所存です。

平成二十三年八月

谷田川はじめ

